

おうみネット

2017
101
Spring

Ohmi Net | ●発行日 / 2017年3月1日 ●発行所 / 公益財団法人 淡海文化振興財団

① 特集 クラウドファンディング ～共感と巻き込み力の時代～

日本ファンドレイジング協会関西チャプター運営委員

日本ファンドレイジング協会准認定ファンドレイザー 西村 昌弘さん

⑤ おうみの市民と企業が **ともに Grow**

赤野井湾を淡水真珠の生まれる場所に再生させたい

Grow 01

環境保全

夢・びわ湖

アニメと音楽の力で地域を活性化
第10回
とよさと軽音楽甲子園

Grow 02

まちおこし

とよさと軽音部

Grow

映画づくりを通してたかしまの宝を発掘!

Grow 03

まちおこし

特定非営利活動法人
たかしまプロデュース

社会貢献する「世間よし」企業紹介

Grow 04

世間よし

清酒 萩乃露 醸造元
福井弥平商店



Ohmi Network Center

淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

クラウドファンディング

「共感と巻き込み力の時代」

近年、市民活動の分野においてクラウドファンディング(Crowdfunding・以下、CF)で活動資金を調達する事例が増えてきました。様々なCF事例から見えてくるのは、不特定多数の人の共感を集め、共感の輪の中にさらに多くの人を巻き込んでいくことがCFの成否を決めるということなのです。

今号では、CFコーディネーターの西村昌弘さんに、共感と巻き込み力による顕著な成功事例を紹介していただきます。加えて、滋賀県内のCF成功事例として、NPO法人D.Liveの沢田沙織さんと、竜王町地域おこし協力隊の木田桃子さんにお話を伺います。

クラウドファンディングとは

群衆(crowd)と資金調達(funding)を組み合わせた造語で、クリエイターや起業家が製品やサービスの研究、開発、販売など「特定の目的」のために、インターネットを通じて不特定多数の人から資金の出資や協力を募ることで、上手く活用することで、必要な資金が集められるだけでなく、より多くの人に製品やサービスを認知してもらうことができるといわれている。

共感と巻き込み力の時代

日本ファンドレイジング協会関西チャプター運営委員
日本ファンドレイジング協会准認定ファンドレイザー

西村 昌弘さん

二〇一六年は日本映画の当り年でしたね。「シン・ゴジラ」に「君の名は」。ご覧になった方も沢山いらっしゃるでしょう。そんな日本映画のヒット作の中にクラウドファンディング(以下、CF

という。)で人々の共感を集めながら作り上げたアニメ映画があるのをご存じでしょうか？

その映画とは、CFサイトMakeで二〇一五年に資金調達に成功した、マンガ『この世界

の片隅に』(原作…この史代)の片瀬須直監督により映画化されたアニメです。

劇場用アニメ映画『この世界の片隅に』の公開を実現するためにパイロットフィルム制作を応援して下さる「制作支援メンバー」を募集というカタチでCFプロジェクトがスタートしました。するとあれよあれよという間に八日間で目標の二、一六〇万円を達成。最終的には三、三七八人の方々から実に三、九〇〇万円以上の資金を集めました。

それまでCFで資金を集めた映画のプロジェクトはあったものの、金額は最高でも一〇〇万円程度の自主制作映画がほとんどでした。このプロジェクトのリターン(出資や支援に対する見返り)も工夫がこらされていて、普通は製作できた映画の鑑賞券などをリターンするケースがほとんどですが、あくまで制作支援メンバーということにこだわり映画完成まで毎週製作者から制作途中のイラストや裏話などを入れたメルマガを1年以上支援者に送り続けました。支援メンバー向け上映会でも十一

西村 昌弘さん●プロフィール

奈良県生まれ。大阪芸術大学芸術学部文芸学科卒。卒業後、金融、自動車業界で一貫してセールス、セールスマネージャー等を経験。

2015年、日本ファンドレイジング協会准認定ファンドレイザー取得。6月より関西チャプター運営委員。クラウドファンディングを通じて、NPO、起業家、社内ベンチャー等の相談を受けている。現在、クラウドファンディングコーディネーターとして、事業を展開中。



月十二日からの一般上映のPRカードが配られ、メンバーの身近な人たちにPRするよう促されました。必然的にメンバーそれぞれが映画への関わりが深まりどんどんファンができていくような仕掛けです。そんな長期的なスタッフの方々の努力が、支援者の熱量を冷ますことなく口コミや応援につながったように思います。

一般公開が始まると、一〇、八〇〇円以上の支援メンバーの名前がエンドロールに入り、二、〇〇〇名以上の名前が延々とスクリーンに映し出される様子は圧巻でした。公開1週目は六十三館での小規模公開でしたが、公開と同時に口コミで話題となり、現在は九十館に拡大。観客動員数六十万人、興行収入八億円と、大きな広がりを見せています(二〇一六年十二月二十六日現在)。今年は二〇〇館まで拡大上映が決まったそうです。



▲クラウドファンディングで資金調達をして公開された映画「この世界の片隅に」

Essay. I 市民活動をサポート!

「出会い」が行き交う場づくり

守山市民交流センターは「出会い」「交流」「創造」をコンセプトとして、市民と行政による“協働のまちづくり”を目指し、ボランティアや市民活動団体の活性化、自立化を促進します。

市民活動支援として、NPO活動のアピール、交流、つながりづくりの機会となるイベントの開催や、活動の相談、活動スキルを高める講座の開催などの支援を実施しています。

当センターには、打ちあわせや講座開催で利用できる市民活動スペースや、文化活動スペース、コピー機、輪転機などの資料作成コーナーがあります。さらにスポーツを楽しめる多目的ホールや健康維持・向上のためのトレーニング室があり、様々な利用目的の方がお越しになって、出会いや交流が起こることが当センターの特徴です。

ほかにも様々な取り組みで、「得意技」「楽しみ」を活かした市民活動を支援していますので、ぜひ当センターを皆様の活動に活用してください。



守山市民交流センター

奥村 元(おくむら はじめ)さん

らに多くの人をその輪の中に巻き込んでいく周到な事前準備と継続的な取り組みの成果です。映画のプロジェクトではありませんが、滋賀県でも学習船「うみのこ」三十五年ぶりの新船建造プロジェクトに挑戦されました。いまは会社の規模や都会や地方ということはあまり関係なく、いかに共感を生み出せる仕組みやつながりを作れるかが非常に重要だと思っています。共感と巻き込み力で、多くのプロジェクトが成功するといえますね。



学習船「うみのこ」 新船建造中!

滋賀県では、県内の小学5年生全員を対象に、母なる湖・琵琶湖を舞台にして、学習船「うみのこ」を活用した宿泊体験型の教育を展開し、環境に主体的にかかわる力や、人と豊かにかかわる力をはぐくんでいます。

現在の「うみのこ」は、昭和58年8月に就航し、「びわ湖フローティングスクール」として、これまで約52万人の児童が乗船し、学習をしてきました。しかし、就航から33年が経過し、長年の航海による老朽化のため、新船の建造を進めています。

多くの方々と一緒に、みなさまに愛される新しい「うみのこ」をつくっていくため、滋賀県庁として初めて“クラウドファンディング”による寄附金の募集を行いました。(県へ寄附申出書を送付いただくことによる寄附金は、現在も受け付けています。)

平成30年4月の就航に向けて、新しい「うみのこ」の誕生を盛り上げていきたいと思っておりますので、引き続き、みなさまのご支援をよろしくお願いいたします。

滋賀県教育委員会事務局 教育総務課 企画室
TEL : 077-528-4512 FAX : 077-528-4950
E-mail : ma0002@pref.shiga.lg.jp

クラウドファンディング 成功事例 1

たくさんの想いが伝わったから
こそその成功。思いを伝えること。
そして、諦めないこと。

NPO 法人 D.Live (ドライブ)

目標金額 700,000 円
達成金額 763,000 円
サポーター 130 人

成功



「子どもの自信
白書」という冊子
の制作を始めまし
た。

私たちは自分に自信が持てない子どもが多い社会に問題意識を感じ、子どもがなりたいたい自分に向かって思いきり取り組める社会をつくることをミッションに活動しています。主な事業は子ども向けに自信を育む教室の運営や、子どもに関わる大人向けに自尊感情(自己肯定感)の研修などをおこなっています。大人向け事業の一環として自尊感情について多くの人に知っていただくため二〇一五年度から『子どもの自信白書』という冊子の制作を始めました。

白書「創刊号は助成金をいただいて制作しましたが、たくさんの方に制作に参加してもらったことさらに多くの人の手に届けられるのではないかと考え、第二号はクラウドファンディングに挑戦することにしました。

準備を三か月前から始め、まず力を入れたのは掲載ページの内容です。文章のお仕事をされている方や子育て世代の方を中心に意見をもらい何度も作り直しました。次にいつも当団体を応援してくださっている子育て世代の四人のメンバーで構成された広報ボランティアチームを結成しました。初日の達成率四十%を目指し、これまでお世話になった方などに支援をお願いしました。開始日までに百三十人程にメールや直接お会いするなどしてクラウドファンディングのお話をし、ご支援くださる方には、必ず初日に寄付していただくことをお願いしました。

その甲斐もあり初日で六十%を達成し、当初目標の五十万円(白書五千



部印刷相当分)は一週間で達成することができました。すぐに次の目標を七十万(一万部印刷相当分)に再

クラウドファンディング 成功事例 2

寄付してくださった方と
今後も関われることを大切にしたい!

ひだまり学舎 竜王町地域おこし協力隊

目標金額 500,000 円
達成金額 523,000 円
サポーター 70 人

成功

竜王町には百軒以上の空き家があります。しかし、活用された例は一つもなく、朽ちて、草に覆われ眠ったままの空き家。考え方を変えれば、新しく人が集まる場所にできる。「三十年以上も空き家になっていた古民家をリノベーションをして、新しい学びの場として再生しよう」とクラウドファンディングを活用してひだまり学舎は誕生しました。始めた時は、本当に集まるのか? リターンをどうするのか?どのサイトを使うのか?など不安もたくさんありました。三日で三十%達成できていないと成功は難しいと言われるクラウドファンディング。しかし、十%しか集まっていない状況でした。イベントに参加してPRしたり、ワークショップを企画したい講師の



の人が出入りしやすい場所にしたと考えています。「福祉の見える化」で、子育ても介護も見えることでスキルアップし負担の軽減を目指しています。

方に協力を求めたりして無事達成できました。寄付のコース(リターン商品)にはひだまり学舎らしい工夫を取り入れました。コースによりお礼の品は変わりますが、手作りの品をはじめ、ひだまり学舎で教員ができるコース(教員カード進呈)や生徒になれるコース(生徒手帳進呈)など、お礼を渡すだけでなく、寄付をしてくださった方と今後も関われることを大切にしたいという思いです。二〇一七年四月からは教室やコミュニティカフェを始動する予定で、教室は自ら講師を務める英会話教室や、ヨガ、地元の方の竹や藁細工教室なども予定しています。竜王町は集落同志が隣接していないため、お付き合いが希薄になったり、人口減少で自治会を運営することが難しい状況になってきています。そこを解決するために、他集落の人にもきてもらえることを目標とし、多く

まとめ

クラウドファンディングは、誰でも参加でき、資金調達と同時にPRができ、資金的なリスクがないというメリットがあります。企業や個人、都会や地方に関係なく参画できる画期的なシステムでもあります。しかしその反面モラルや理念が非常に重要であり、今後検討すべき課題も多く含まれています。

今回お話を聞いて、成功の秘訣は事前の準備と、いかに思いを伝え共感と巻き込み力を発揮するかがとても大切であるということがわかりました。クラウドファンディングを正しく理解して、よりよく活用されることを期待しています。

Essay. II

おうみ未来塾リレーエッセイ

これまでの繋がりや経験を活かして

6期生 平井育恵(ひらい いくえ)

「ひとりから始まる」子育て支援の地域プロデュース

原稿依頼を頂いて、久しぶりにおうみ未来塾のことを思い出しました。きちんと数えていませんが、あれからもう10年ほど経ったことに驚きます。当時小学生だった子どもたちが大学生と高校生なのですから当然なのですが。

「子育て支援」が言われだして間もない頃、子育てネットワークや次世代育成支援対策推進法への対応で、国レベルまでの視野を持って地域活動に取り組む必要性を感じていました。子育て期は私のような新住民が地域と結びつく絶好の機会ですし、そうでなければ「子育て」も「子育て」もたいへん難しくしんどいものになります。私にとって、活動における「当事者性」はすでに過去のものですが、最近また新たに「森のようちえん」に関わらせてもらうことになり、おうみ未来塾はじめ、これまでに得た様々の繋がりや経験を役立てていければと思っています。



設定し、こちらでも終了間際に達成することができました。成功の力は事前に周りの人に想いを伝え、私たちの挑戦を知っておいてもらったことだと思っています。

おかげさまで全国から問い合わせがあり、制作した一万部の内、支援者へのお返しも含めるとすでに四千字余りを配布することができ、たくさんの方に白書を届けられたことは本当に嬉しく思います。

クラウドファンディングは事前の準備が大切です。私たちは応援してくれている方と共通の目標に向かって取り組めたので、今振り返ると

でも楽しかったです。これから挑戦される方は、ぜひ準備期間から周りの人を巻き込んでください。人は「自分が共感したものに支援しよう」とします。

最後の一分一秒まで、想いをしっかりと丁寧

に伝えることを諦めないことが大切です。

DATA

NPO法人 D.Live

- 設立 / 2009年
- 会員数 / 10名
- 連絡先 /
- 〒525-0066 草津市矢橋町105番地-1
- カーサソラツツオ菫番館406号室
- E-mail : info@dlive.jp
- URL : http://www.dlive.jp/



貸しスペースも予定しており、竜王地域に足りていなかった子育てサークルなども検討しています。

クラウドファンディングに挑戦して本当に良かったと思います。応援

してくれる人がこんなにいるんだと活動の意義を感じることもできました。達成がスタートであり、協力いただいたいた多くの方から意見をもらえて、高めていくことができます。失敗してもまた次のチャレンジができます。悩んでいるならチャレンジしてほしいです。

DATA

ひだまり学舎 竜王町地域おこし協力隊

- 〒520-2511 蒲生郡竜王町林421-3
- 090-1516-4517
- 竜王町 地域おこし協力隊
- 木田 桃子 / 中村 匡希

ともに Grow

県内で活躍するNPOや
社会貢献企業を
レポート!

Grow 01 市民 ● 環境保全

2016年積水化成品基金助成団体

夢・びわ湖



▲貝の調査と水質調査

代表●辻 ひとみ
設立●2005年4月1日
会員●9人
連絡先●守山市播磨田町155-15
TEL：077-583-3519
FAX：077-583-3519
E-mail nagai-th@zeus.eonet.ne.jp

活動を続けて10年余り、 環境啓発の成果が出てきています!

「夢・びわ湖」さんは、発足してから十年余り。毎月一回、守山市にある赤野井湾の環境調査と清掃活動を行っています。メンバーである永井喜子さんにお話を伺いました。

主な活動は、定例となっている毎月第三月曜日の午前九時から、赤野井湾での環境観察、水草除去作業、清掃活動です。イケチヨウガイの生息調査やハスの観察に取り組む様子が守山市広報や新聞記事に取り上げられることが増えて、地道にやってきた啓発活動の成果が出て来ています。

団体の一番の課題は、活動財源の確保。小規模の団体では、会員の会費だけではとても賄いきれず、啓発活動は助成金が頼りですが、それもだんだん厳しくなっています。

昨年十月には、積水化成品グループの社員さん七名と一緒に船で沖に出て、イケチヨウガイの洗浄やオオバナミズキンバイの除去作業、そして湖岸の清掃を行いました。この日は、いつもと違うメ



▲積水化成品工業さんと一緒に記念写真

ンパーと一緒に汗を流し、より充実した一日となりました。

二〇一四年十二月に初めて淡水真珠の母貝であるイケチヨウガイに細胞片を入れるオペをしてもらいました。淡水真珠が出来るまで最低三年かかるということで、二〇一七年に貝を開ける予定です。赤野井湾でイケチヨウガイが生息できることが実証され、生息にはどのような環境が好ましいのか、また淡水真珠が出来ることが分かればいろんな広がりが見えてきます。「長く活動できているのもいい仲間にも恵まれたから。」と永井さん。「夢・びわ湖」さんの夢は一步一步実現に進んでいます。

(淡海ネットワークセンター 澤 孝彦)

豊郷らしさのある大会を 高校生たちとともに



▲豊郷小学校旧校舎群

アニメ「けいおん」の聖地として知られる豊郷小学校旧校舎群は、「けいおん」のファンたちが集う場所として注目を浴びるようになりました。そこに訪れる人たちが次第に楽器や機材を持ち寄るようになり、セッションが生まれ、「とよさと桜高軽音楽部」というSNS上のグ

ループ(メンバー約六百名)が形成されるまでになり、一気に全国から多くの人が集まるようになりました。そんな中、アニメと音楽の力で地域を活性化しようと、豊郷町商工会が始められたのが「とよさと軽音楽甲子園」です。当初はアニメソングを演奏する高校生のコ

キャストもスタッフもシナリオも。 高島市民の手で作られたmade in 高島の映画



▲キャストとスタッフのみなさま

「宝物がいっぱいあるじゃないですか!」
映画を作るきっかけとなったのは特定非営利活動法人たかしまプロデュース代表の藤原さん(おうみ未来塾二期生)が出会ったひとりの女性の一言でした。高島の魅力について聞かれた時に思わず口をついて出て

まった言葉「何もないところですよ。」自身の言葉にとっても後悔した藤原さんは、キャスト、スタッフはもちろん、シナリオ、歌までもすべて高島市民の手によって作られ、高島の「宝物」がたっぷり詰まった映画「虹をつれて」を作ることに。
高島市内を口ケ地として

社会貢献する「世間よし」企業紹介

清酒 萩乃露 醸造元 福井弥平商店

〒520-1121 滋賀県高島市勝野1387-1
TEL: 0740-36-1011 FAX: 0740-36-1633
E-mail: seishu-haginotsuyu@tea.ocn.ne.jp
URL: http://www.haginotsuyu.co.jp

酒造りを通じた地域課題を解決する2つの取り組み。

日本酒を通じて棚田保全や、地域の課題解決の取り組みをされている清酒萩乃露醸造元、福井弥平商店の福井毅さんにお話を伺いました。

2002年、日本の棚田100選に滋賀県で唯一選ばれた高島の「^{はた}畑の棚田」。この棚田で収穫されたコシヒカリで造った日本酒で高島を発信しようと純米吟醸「里山」が誕生しました。

通常お酒はコシヒカリで製造しないため、当初は中々満足のいく味にならずに苦労されました。高島市では2年前から棚田オーナー制度を実施し、他地域の方と棚田の田植えや稲刈りを一緒に行っています。その中の「酒オーナー制度」では福井弥平商店さんでの、冬の酒造見学や「里山」がいただけます。棚田のお米でお酒を作ることにより棚田保全をし、棚田オーナー制度でより多くの方に棚田の現状を理解してもらい、今後も「里山」を通じて高島を発信していきたいと考えておられます。

商品の1つに特別純米「^{あまだ}雨垂れ石を穿つ」というお酒があります。このお酒は、高島市社会福祉協議会の「赤い羽根募金百貨店プロジェクト」により、1本購入すると自動的に50円が募金される寄付つき商品となっています。寄付されたお金は高齢化の進む地元地域の見守り活動に使われています。実はこのお酒の背景には2013年、原料米である吟吹雪の稲刈り目前、台風18号で付近は壊滅的な被害を受けたにも関わらず、奇跡的にも吟吹雪の圃場だけが被害を受けず、困難を乗り越えた奇跡のお酒というエピソードがあったのです。

地域の課題を地域の産業で解決しながら思いがこもったお酒造りをされていることに、大変感銘を受けました。

(淡海ネットワークセンター 佐藤 弥絵美)



▲日本の棚田100選に選ばれた「畑(はた)の棚田」 ▲福井弥平商店の外観

とよさと軽音部

代表●泉 太雄
設立●2010年10月
会員●24名
連絡先●TEL: 090-3994-8772
E-mail v0o0v.tmy@gmail.com
URL: とよさと軽音楽甲子園



▲文部科学大臣賞を受賞した高校生たち

「他の全国大会と同じになっただけでは意味がない、豊郷らしさのある大会にした。そのためには高校生たちに豊郷を知ってもらい歌にしてもらいたい。そうすれば地元の人たちにとってもより楽しい大会になる。演奏技術は勿論のこと、今後はそうした要素も評価の対象としていければ」と代表の泉さん。「ようやく軽音部も文化部として地位が確立されてきている。自分がこの活動をするので、頑張っている高校生たちの追い風となれば」と笑顔で話してくださいました。

「おうみネットサポーター(加藤 愛)」

特定非営利活動法人 たかしまプロデュース

代表●藤原ミノル
設立●2010年8月
会員●10名
連絡先●高島市今津町日置前493-2
TEL/FAX: 0740-33-7889
E-mail: info@taka-pro.com
URL: http://www.taka-pro.com



▲高島定食シーンの撮影風景

いる本映画は、市内の美しい景色がたくさん登場します。キャストやスタッフ、映画を見た方々、そして藤原さん自身もこの映画を通して高島の魅力を再発見されたそうです。また、藤原さんと二人三脚で頑張ったこと、高島出身の大学生、川島さん。お二人の地元に対する熱い想いはとても強く、その思いが両輪となって制作期間三年という長い道のりを進み切る力になったのだと思います。

「映画は、世代問わず楽しめるようにコメディ調に。また、藤原さんの本映画の一番のこだわりは「食」とのこと。「そこにしかない」をアピールしていきたいという藤原さんの想いは、架空の定食「高島定食」を生み出しました。高島の食材を使い、とことんこだわられた高島定食。映画を見た人からも、大変好評でどこで食べられるんですかという質問が多数寄せられたとか。

「虹をつれて」DVD化も検討中の藤原さん。高島を市民の力で盛り上げていく活動はこれからも続きます！

(中島 眞季)

お知らせ 特定非営利活動促進法(NPO法)の一部改正のポイント

すべてのNPO法人が対象です

- ※下記1・2の施行日は平成29年4月1日
1. 事業報告書等の備置期間が5年間に延長
 2. 申請等の書類縦覧期間が1か月間に短縮
 3. 内閣府NPO法人ポータルサイトにおける情報提供の拡大(平成28年6月7日施行)
 4. 貸借対照表の公告 **※施行日未定**

1) 毎年度、貸借対照表を公告することとなり、「資産の総額」の登記は不要。

※ただし、本規定施行日までは、「資産の総額」の登記が必要です。

- 2) 公告方法・公告期間
- ①官報に掲載(年度毎)
 - ②日刊新聞紙に掲載(年度毎)
 - ③電子公告(法人HP等)(約5年間)
 - ④公衆の見やすい場所に掲示(1年間が想定されており、内閣府令で規定予定)

3) 現在の公告方法とは別の方法で貸借対照表を公告する場合は、定款変更が必要

【定款記載例】

(公告の方法)

第〇条 この法人の公告は、この法人の掲示場に提示するとともに、官報に掲載して行う。ただし、第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、**〇〇に掲載して行う。**

※下線部については、下記記載例を参照。

①官報：「官報に掲載して行う。」

②日刊新聞紙：「〇〇県において発行する〇〇新聞に掲載して行う。」

③ 電子公告：

【法人のホームページの場合】

「この法人のホームページに掲載して行う。」

【内閣府NPOポータルサイトの場合】

「内閣府NPOポータルサイト(法人入力情報欄)に掲載して行う。」

【滋賀県協働ポータルサイトの場合】

「滋賀県協働ポータルサイト(NPO法人の貸借対照表の公告)に掲載して行う。」

④ 主たる事務所の公衆の見やすい場所：

「この法人の主たる事務所の掲示場に掲示して行う。」

4) 定款変更の時期※施行日を平成30年10月1日と仮定した場合

① 3月末決算(総会の開催が6月頃)

◆平成30年6月開催の総会で議決

② 9月末決算(総会の開催が12月頃)

◆平成29年12月開催の総会で議決

※公告方法変更による定款変更は、所轄庁(滋賀県)への届出が必要となります。

認定・仮認定法人が対象です

1. 役員報酬規程等備置期間が5年間に延長
2. 海外送金等に関する書類は毎事業年度1回の事後提出
3. 「仮認定」NPO法人の名称が「特例認定」NPO法人に変更

編集後記

とよさと軽音楽甲子園は、アニメけいおんの聖地である、豊郷小学校旧校舎を舞台にした一味違った音楽祭でした。サブカルチャーからの地域活性、豊郷から県内外へと今後の活動が楽しみです。(おうみネットサポーター 加藤 愛)

藤原さんと川島さん。ひょっとしたら親子ほど年が離れているかもしれない二人が偶然出会い映画を作ったこと。互いに対等に意見を言い合えるパートナーとして、認め合っておられること。とても高島を愛しておられること。全部全部ステキでした！こんなステキな二人に愛される高島は最高に幸せものな町だなんて思いました！(おうみネットサポーター 中島 眞季)

おうみネット 101

●2017 冬号●



Ohmi Network Center
淡海ネットワークセンター
公益財団法人 淡海文化振興財団

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

■〒520-0801 大津市におの浜1-1-20

ピアザ淡海2階

■TEL 077-524-8440 ■FAX 077-524-8442

■http://www.ohmi-net.com

■E-mail:office@ohmi-net.com

開館日/市民活動ふらっとルーム：火～土曜日

(火～金曜日の祝日は休館)

事務所：火～日曜日

●情報交流誌「おうみネット」は登録いただいている県内外の団体・個人のほか、次のところに配布しています。(50音順)

関西アーバン銀行、京都信用金庫、県内公民館、県内公立施設、県内市民活動支援センター、県内社会福祉協議会、県内市役所・役場、県内図書館、県内中学校・高校・大学、滋賀銀行、滋賀県信用組合、滋賀県庁、生活協同コープしが、他

市民活動・人・企業との出会い広がる情報交流誌「おうみネット」掲載広告募集中!

- ★発行部数10,000部
- ★県内外の配布先約2,000カ所
- ★1枠(横9.3cm×縦3.5cm)15,000円



詳細は、当センターまでお問い合わせください!

おたがいさまがつながり、活きる。

未来ファンド **個人の気持ち、企業のCSR**
おうみ 様々な“志”を地域に支える市民活動へ、しっかりつなぎます。

寄付をお考えの方、詳しい内容を知りたい方は、**淡海ネットワークセンター**にお気軽にお問い合わせください。



この印刷物は大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。